



以前、私が日本人友人になぜ日本人はシナ人、朝鮮人と仲良くできないのか。その原因は一体どこにあるのだろうか？と質問された。サヨクの方は、日本がかつてシナ、朝鮮を「侵略」した等の理由を挙げ、土下座「謝罪外交」、賠償を続ければ、相手が許すと思っているが、私はまったく同意できない。

人類の歴史の中で、今まで沢山の戦争が起こった。どのように戦争を見るのか、それぞれの民族の考えは違う。ヨーロッパ大陸はかつて何度も戦争を起こしたが、現在、お互いに恨みを持っている人は殆どいない。アジアでも、シナ文化以外の国は殆ど日本に親しみを感じている。なぜ、同じ黄色人種、顔も似ているシナ人、朝鮮人は反日なのか？個人の考えでは、シナ人、朝鮮人の文化は諸外国にない邪悪、暗黒の一面がある。その暗黒面はシナ人、朝鮮人が、日本人と性格、気質の違いを決めた。因みに、シナ人と朝鮮人の反日は、特定のシナ文化の産物である。朝鮮はかつてシナの属国、長い間シナ文化の影響を受けてしまって、反日思想も同様の原因だと考えている。

実はシナ文化は、嫉妬、恨みの文化がある。しかも、その二つの文化はシナ人の思想に大きな影響を与えた。例えば、お金もちの豪邸、高級外車を見たら、典型的なシナ人は「同じ人間なのに、なぜお前だけそんな良い場所に住めるのか？この豪邸に住んでいる人が、いつか不幸に遭遇することを望む」と考えるだろう。まったく知らない人間でも、自分より良い生活を過ごしているのを見たら、思わず嫉妬から恨みが生じるシナ人はかなり多い。普通の日本人は知らない人が自分より良い生活を過ごしているのを見ても、いくら羨ましがっても、その人の不幸を望まないだろう。

シナ人は非常に利己的、うぬぼれの民族、自分の家族、親戚以外の人に関心は少ない、自分が第一位と見做しているため、血族の以外の他人が自分にないものを手に入れたら、或は自分より裕福、幸せだったら、強烈な嫉妬心を持ちやすい。シナ人は自己反省する能力がない、他人に及ばない理由も思考しない。虚栄心も強く、他人の成功を心から祝う気持ちが少ない。彼らの目からみると、成功者はただ自分より運が良いだけ、成功者への憎み、呪いから心理的なバランスや「面子」を取り戻す。

日本人は自らの勤勉、真面目 知恵のおかげで、沢山の血や汗を流し、自由、裕福な生活を手に入れることができた。しかし、大多数のシナ人は、何千年前

から今まで、ずっと貧しく自由もない生活を過ごしている。しかし、シナの「面子文化」によって、シナ人は自分の民族が日本人より 頭が悪いことを絶対に認めない。

かつて、私がシナにいる頃、シナのメディアが日本の先進、裕福の理由をいくつか説明していた。もっとも多いのは「日本の富は侵略戦争の時、シナから沢山の物を奪った結果だ。」次は「日本の富は朝鮮戦争とアメリカの経済援助のお陰だ」。以前、シナでは「黄金武士」という本が一度流行っていた。この本は、昔日本人がシナから大量な黄金を略奪し戦後日本社会の富を築いたことが書かれている。まったくデタラメなことで、シナ人が得意な事実捏造の本である。しかし、多くのシナ人は本の内容を疑わない。あるいは疑いたがらない。

シナの教育ではシナ人は世界一の優秀な民族であり、日本人に及ばない理由がない。シナ人は民族の「面子」を保つために、いくら捏造しても、嘘を付いても、周りのシナ人に責められることはない。逆に愛国の行為として称賛されている。

シナ人はある面で自分より優れている人を常に嫉妬している。その嫉妬から生じる恨みが自分より優れている人の不幸を望んでいる。一旦嫉妬された人、および家族が、本当に不幸になったら、シナ人にとって嬉しいことである。「他人の不幸を笑う」はまさにシナ伝統の恨み文化である。日本で何か自然災害、大きな交通事故、犯罪事件によって大量の死傷者が出た時、シナのインターネットではお祭り気分喜び一色である。

日本人の不幸を祝っているシナ人とは反対に、シナで同じことが起きたら同情心を持ち、シナ人に寄付する日本人は少なくないだろう。2008年四川大地震の時、沢山の日本人がシナに大量の資金援助を与えたが、結局、2010年反日デモを起したのも被災地の四川省。

正直に言って、その状況を見たら、私はいつも複雑な気持ちが湧いてきて、心から痛みを感じる。シナ人が後ろから恩人を刀で斬るならば、日本人はまさに敵に銃弾を送っていると言える。特亜の反日民族と対抗するために、日本人はもっと反日特亜民族の本性を知らないといけない。お人好しばかりしては、かえって彼らに騙され、被害に遭うのは間違いないだろう。

